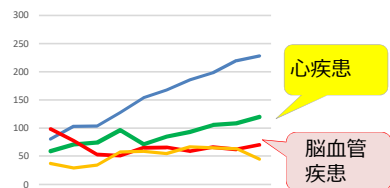


沖縄県循環器病対策推進計画（案）概要版

現状と課題

1. 死亡原因の4分の1

循環器病はがんに次ぐ死亡原因であり、県内の死因の4分の1を占めている



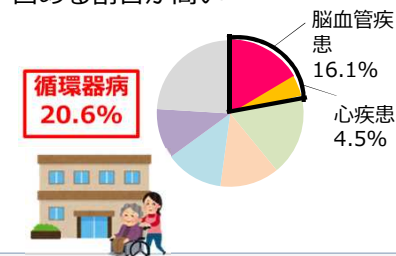
2. 救急搬送件数の14.6%

県内の急病による救急搬送件数のうち、約15%を循環器病が占め、うち脳疾患の約33%、心疾患の約25%が重症以上となっている



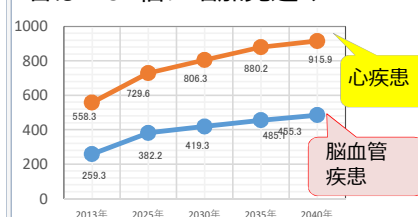
3. 要介護者の介護原因の1位

介護が必要となった主な原因に占める割合が高い



4. 入院患者は増加見込み

2040年には、心疾患患者は2013年時点の1.64倍、脳卒中患者は1.87倍に増加見込み



基本方向

県内の循環器病に関する現状と課題を踏まえ

「循環器病の予防」「患者のQOL向上」

を基本方向とし、ロジックモデルを活用し体系的に施策及び指標を設定

目標：「発症数の減少」、「年齢調整死亡率の減少」、「再発予防及び在宅復帰率の向上」

施策：予防、知識の普及啓発等

- 健康づくりのイベントや各種メディアを活用した、予防や正しい知識の普及啓発
- 国立循環器病研究センターとの協働事業による健康づくりの推進
- 副読本等の活用による児童生徒への健康的な生活習慣に関する知識の普及
- 特定健診の受診率向上及び有所見者に対する保健指導や医療機関の受診勧奨
- 保健事業従事者への研修実施及び市町村等の保健指導担当者の技術向上支援



施策：心疾患対策

- 速やかな救急要請、搬送に繋げるための県民に対する知識や対処法の普及、啓発
- 24時間P C Iが実施可能な体制の整備の促進
- 大動脈緊急症への24時間体制の確保のための広域連携体制の構築
- 心臓リハビリテーションの充実の促進
- 多職種連携体制の充実の促進及び心不全手帳や心不全地域連携パス作成
- 心不全緩和ケアの提供体制の充実
- 先天性心疾患患者への切れ目のない医療の提供及び相談支援



施策：脳卒中対策

- 速やかな救急要請、搬送に繋げるための県民に対する知識や対処法の普及、啓発
- t-PA、外科治療及び血管内治療など、24時間必要な医療を提供できる診療体制確保の取組支援
- 脳卒中患者及びその家族、後遺症をお持ちの方への情報提供を行うための相談窓口設置に向けた検討
- 医療・福祉・介護等の関係機関が連携を図り、切れ目なく治療やリハビリ、介護サービスが提供できる体制の確保
- 高次脳機能障害者への専門的相談、リハビリテーションの実施等



施策：仕事と治療の両立支援・就労支援

- 沖縄産業保健総合支援センター等による相談、支援
- 医療機関での出張相談窓口の開設など、入院時からの相談、支援
- 循環器病患者の状況に応じた治療と仕事の両立支援や職場復帰の支援



計画の位置づけ及び推進体制等

- 計画の位置づけ：循環器病対策基本法に基づき、医療計画、健康増進計画、障害者基本計画等と整合性を図りながら推進する
- 計画期間：（第一期）令和4年4月1日～令和6年3月31日の2年間
- 推進体制：沖縄県循環器病対策推進協議会において、計画の推進及び進捗評価に関する意見を聴取、関係者と連携を図り施策を推進する
- 進捗評価：毎年度、設定した指標の進捗状況を把握し評価を実施、必要に応じてより効果的な施策への見直しを行う